

平成29年度
第1回 加賀市地域公共交通会議
第1回 加賀市地域公共交通活性化・再生協議会

日時 平成29年6月23日(金)
午後1時30分から
場所 加賀市役所別館302・303会議室

1 開 会

2 委員紹介

3 会長及び副会長の互選

4 議 事

〔【会議】 ⇒地域公共交通会議関連の議事
【協議会】⇒地域公共交通活性化・再生協議会関連の議事〕

資料頁

・ 現在(H29.4.1)の地域交通体系について【会議・協議会】・・・・・・・・・・ 1

(1) 平成28年度加賀市地域公共交通活性化・再生協議会
事業報告及び歳入歳出決算について【協議会】・・・・・・・・・・ 2

(2) 平成29年度加賀市地域公共交通活性化・再生協議会
事業計画及び歳入歳出予算について【協議会】・・・・・・・・・・ 8

(3) 「加賀市地域内フィーダー系統確保維持計画」(案)について【協議会】・ 10

(4) 地域公共交通の利用状況について【会議】・・・・・・・・・・ 16

(5) キャンバス動橋・橋立循環線の8月以降の方向性について【会議】・ 20

(6) その他

5 閉 会

平成29年度

第1回 加賀市地域公共交通会議

第1回 加賀市地域公共交通活性化・再生協議会

資 料

日時：平成29年6月23日（金） 午後1時30分～

現在の地域交通体系

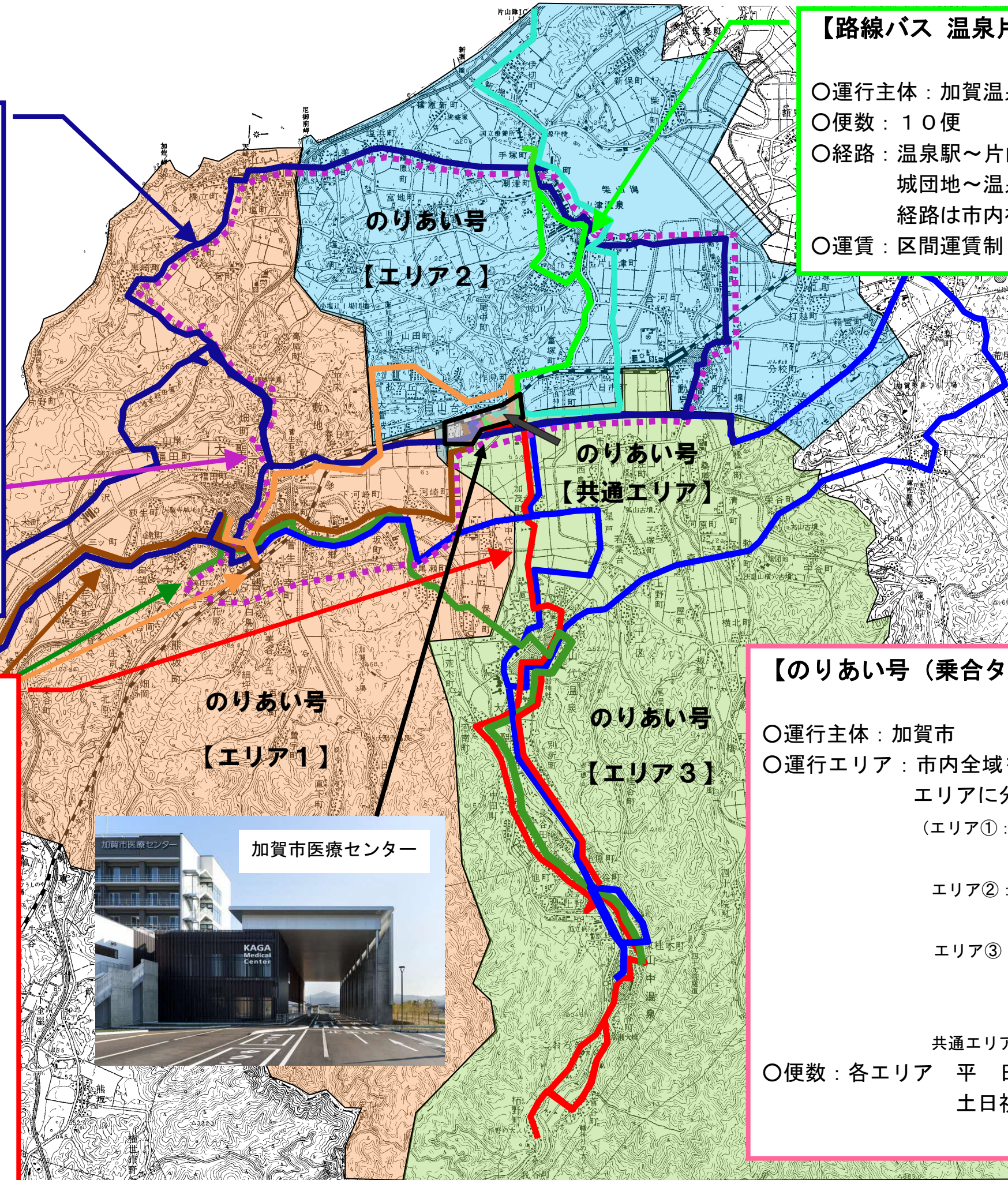
(地域交通体系「KAGA あんしんネット」)

【キャンパス】

- 運行企画：(株)まちづくり加賀
- 経路：海まわり線、山まわり線 (—)
- 小松空港線 (—)
- 動橋・橋立循環線 (…)
- 便数：海まわり線、山まわり線 10便
- 小松空港線 5便 動橋・橋立循環線 3便
- 運賃
 - ・海まわり線、山まわり線、小松空港線
 - 1日券 1,000円 2日券 1,200円
 - 11回回数券 3,000円
 - 空港アクセス乗車券 500円
 - ・動橋・橋立循環線
 - 1回乗車 300円 8回回数券 2,000円
 - 1ヶ月定期券 3,000円

【路線バス 温泉片山津線】(—)

- 運行主体：加賀温泉バス(株)
- 便数：10便
- 経路：温泉駅～片山津温泉～石川病院～湖城団地～温泉駅
- 経路は市内初の一部循環
- 運賃：区間運賃制



- 【路線バス 温泉山中線】(—)
- 【路線バス 山代大聖寺線】(—)
- 【路線バス 吉崎線】(—)
- 【路線バス 温泉大聖寺線】(—)

- 運行主体：加賀温泉バス(株)
- 便数：温泉山中線 42便 山代大聖寺線 11便
- 吉崎線 8便 温泉大聖寺線 14便
- 経路
 - 温泉山中線：(栢野)～山中温泉～河南～山代～温泉駅
 - 山代大聖寺線：(山中温泉)～山代～上河崎～大聖寺
 - 吉崎線：塩屋～大聖寺～南郷～温泉駅
 - 温泉大聖寺線：大聖寺～松が丘～温泉駅
- 運賃：区間運賃制

【のりあい号 (乗合タクシー)】

- 運行主体：加賀市
- 運行エリア：市内全域を3つのエリアと共通エリアに分けて運行
- (エリア①：大聖寺、橋立、塩屋、三木、三谷、南郷)
- エリア②：片山津、金明、湖北、作見、動橋、分校
- エリア③：山代、庄、勅使、東谷口、別所、山中温泉、河南、西谷、東谷
- 共通エリア：加賀温泉駅周辺
- 便数：各エリア 平日：8便
- 土日祝：4便

議事（１）

平成２８年度加賀市地域公共交通活性化・再生協議会 事業報告及び歳入歳出決算について

平成２８年度事業報告

事業名	概要
1 バス教室実施	<p>①「路線バスふれあい体験教室」 山中小学校の児童を対象として、路線バスの大切さ、乗り方、車両の仕組みなどを加賀温泉バス(株)の社員が説明し、児童に路線バスに対する愛着を持ってもらい、知識の深まりを図った。 ・実施日：平成２８年７月５日（火） ・対象：山中小学校２年生の児童（２９名） （事業費 26,136 円）</p> <p>②「路線バスふれあい体験教室～バスに乗って出かけよう!!～」 同じく山中小学校２年生の児童を対象として、上記で学んだことを活かし、実際に運行している路線バスへの乗車や料金の支払いを体験してもらった。路線バスを利用する際の不安感を取り除くことで、今後の利用に繋げることを目的とした。 ・実施日：平成２８年１０月１８日（火） ・対象：山中小学校２年生の児童（２９名） （事業費 32,832 円）</p>
2 バス停ベンチ整備	<p>老朽化したバス停ベンチの取替えを行い、利用者の待合環境を向上させることで、バスの利用促進を図った。 ・実施場所：山中温泉バスターミナル（ベンチ５基） （事業費 799,940 円）</p>
3 乗合タクシー利用促進ポスター・チラシ作成	<p>金沢学院大学メディアデザイン学科教授の協力のもと、のりあい号のポスター及びチラシを作成し、市内のショッピングセンターや病院などに掲示・配置し、のりあい号の周知及び利用促進を図った。 （事業費 120,750 円）</p>
4 バス利用促進パンフレット作成	<p>生活路線バスの運行経路や時刻表などを掲載したパンフレット「電車・バス・乗合タクシーで、さあ、出かけよう!!」を作成し、市内全世帯及び市内３高校に配布して利用促進を図った。 （事業費 513,270 円）</p>
事業費計	1, 4 9 2, 9 2 8 円

平成28年度歳入歳出決算

(歳入)

(単位：円)

科目	決算額	摘要
1 繰越金	342,062	前年度繰越金
繰越金	342,062	
2 負担金	787,600	加賀市負担金 573,000
負担金	787,600	加賀温泉バス負担金(バス停ベンチ整備) 214,600
3 補助金	634,000	石川県補助金
補助金	634,000	
4 諸収入	57	預金利子
諸収入	57	
歳入計	1,763,719	

(歳出)

(単位：円)

科目	決算額	摘要
1 事業費	1,492,928	
事業費	1,492,928	バス教室実施 58,968 バス停ベンチ整備 799,940 乗合タクシー利用促進ポスター・チラシ作成 120,750 バス利用促進パンフレット作成 513,270
2 予備費	0	
予備費	0	
歳出計	1,492,928	

歳入決算額 1,763,719 円－歳出決算額 1,492,928 円＝差引残額 270,791 円
差引残額 270,791 円は翌年度に繰り越す。

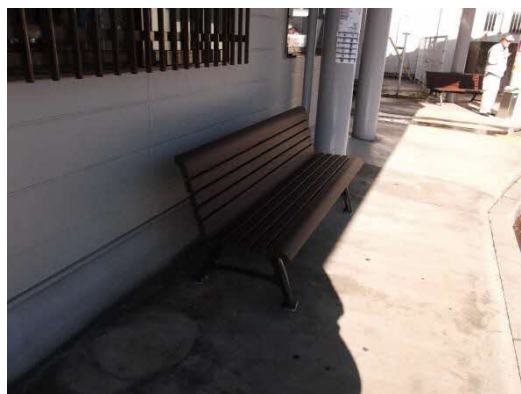
平成28年度 バス停ベンチ整備について

山中温泉バスターミナルの老朽化したベンチを取替えることで、バス利用者の待合環境を向上させバスの利用促進を図りました。

【着工前】



【着工後】



議事（２）

平成２９年度加賀市地域公共交通活性化・再生協議会 事業計画及び歳入歳出予算について

平成２９年度事業計画

（単位：千円）

事業名	予算額	概要
1 バス教室実施	104	小学校の児童を対象として、バス事業者の社員より路線バスの大切さ、乗り方、車内でのマナーなどを説明してもらい、また、実際に運行している路線バスへの乗車を体験することで、路線バスに対する知識の深まりを図り、これに愛着を持ってもらう。
2 公共交通利用促進パンフレット作成	1,190	市内の公共交通の運行経路やダイヤなどを掲載したパンフレットを作成し、市内の世帯や高校に配付し、利用促進を図る。
3 バス停ベンチ整備	810	生活路線バス停留所のうち、ベンチが設置されていないところに、これを設置し、待合環境の向上を図る。
4 乗合タクシー利用促進事業	200	昨年度に作成した乗合タクシーチラシを追加印刷し説明会で配布するなど、乗合タクシーの利用率向上のための事業を実施し、これの利用促進を図る。
計	2,304	

平成29年度歳入歳出予算

(歳入)

(単位：千円)

科目	予算額	摘要
1 負担金	1,179	
負担金	935	加賀市負担金
	244	加賀温泉バス負担金
2 補助金	923	石川県補助金
補助金	923	
3 諸収入	1	預金利子
諸収入	1	
4 前年度繰越金	270	
前年度繰越金	270	
歳入計	2,373	

(歳出)

(単位：千円)

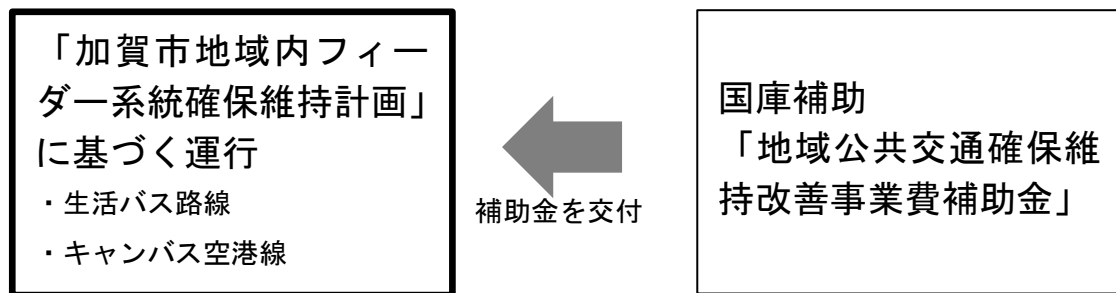
科目	予算額	摘要
1 事業費	2,304	
事業費	2,304	バス教室実施 104
		公共交通利用促進パンフレット作成 1,190
		バス停ベンチ整備 810
		乗合タクシー利用促進事業 200
2 予備費	69	
予備費	69	
歳出計	2,373	

議事（3）

「加賀市地域内フィーダー系統確保維持計画」（案）について

国庫補助制度「地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱」の第2条第1項第1号及び第2号で定める「加賀市地域内フィーダー系統確保維持計画」を次のとおり定める。

上記「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」の図



補助金の交付先は、補助対象路線を運行する乗合バス事業者となる。

加賀市地域内フィーダー系統確保維持計画

平成29年 月 日

(名称) 加賀市地域公共交通活性化・再生協議会
会長 近藤 修司

生活交通確保維持改善計画の名称

加賀市地域内フィーダー系統確保維持計画(平成30年度～32年度)

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

加賀市においては、人口集中地域や病院・商業施設・学校等の生活関連施設が「多核分散」的に分布する中、JR北陸本線が3つの駅を置いて東西に横断し、また、生活バスが5路線で運行されている。

平成28年4月の加賀温泉駅前での統合新病院（現 加賀市医療センター）開院に向けて、平成25年より市内の交通体系を見直し、新たな地域交通体系「KAGAあんしんネット」の構築を進めてきた。「KAGAあんしんネット」では、車を運転できない高齢者等の移動手段を確保するため、「幹線ネットワーク」としての路線バス及びJRの充実、「面的ネットワーク」としての乗合タクシーの運行、この2本柱で市内の交通体系を整えることとし、本計画は平成28年4月に完成した。

本市の公共交通については、市の玄関口となっている加賀温泉駅と山代・片山津・山中の3つの温泉地区を生活路線バス「温泉山中線（地域間幹線）」、「温泉片山津線（地域内フィーダー系統）」が結んでいる。「KAGAあんしんネット」に定める「幹線ネットワーク」の充実として、統合新病院への通院対応のため、平成27年3月に「温泉大聖寺線（地域内フィーダー系統）」の新規運行、「吉崎線（地域内フィーダー系統）」の延伸をした。

官公庁施設や高校がある大聖寺地区へは「山代大聖寺線」も運行している。

また、キャンバスは、「海まわり線」、「山まわり線」に加えて平成27年4月から「動橋・橋立循環線」を運行し、また、「空港線」が小松空港と片山津温泉・加賀温泉駅とを結び、地域住民の貴重な移動手段となっていることに加え、観光振興においても効果があるものとなっている。

更には、「KAGAあんしんネット」に定める「面的ネットワーク」として、平成27年10月からは、市が実施主体となる「加賀市乗合タクシー」の実証運行を、平成28年4月からは本格運行を市内全域で開始し、生活バス路線やキャンバスの路線から離れている空白域を解消し、市内いずれの地域においても地域交通による移動手段を確保した。

これらの地域交通は、車を運転できない高齢者の通院・買い物や、中・高校生の通学等において必要不可欠な交通として機能しているほか、住民が顔を合わせる機会ともなってコミュニティの発展にも寄与していることから、確保・維持していくことは重要である。

しかし、これらの地域交通は人口減少と自家用車の普及により利用者が大きく減少する中、生活路線バスでは収支の悪化から事業者にとってその維持が困難な状況となっている。このため、市民にとって日常生活に必要な移動が可能な、安心・快適な生活環境を確保するため、地域公共交通確保維持事業により生活バス路線、乗合タクシー等の地域交通を確保・維持していくことが必要である。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

- ・ 1便あたりの乗車人数を昨年度の実績より次のとおりとする。

温泉山中線	19人
山代大聖寺線	14人
吉崎線	12人
温泉大聖寺線	3人
温泉片山津線	12人
キャンバス「空港線」	5人
加賀市乗合タクシー	5人

(2) 事業の効果

生活バス路線では、地域間幹線としての「温泉山中線」、地域内フィーダー系統としての「温泉片山津線」、「山代大聖寺線」、「吉崎線」及び「温泉大聖寺線」を維持することにより、3温泉地区及び大聖寺・塩屋・作見地区における高齢者、中・高校生等の日常生活並びに来訪者の観光等での移動手段が確保される。

キャンバスの「動橋・橋立循環線」及び「空港線」の運行により、地域住民の移動手段の利便性向上が図られ住民の日常生活の移動手段となる。

「加賀市乗合タクシー」では、生活バス路線から離れている地域の高齢者等の移動手段が確保される。

これらの地域交通手段が結節することにより、効果的かつ効率的な地域交通体系を実現できるとともに、更には、人の流れが活発になることによる地域活性化の効果も生まれる。

(3) 地域公共交通確保維持事業に係る目標を達成するために行う事業及びその実施主体

(1) バス教室実施（実施主体：加賀市地域公共交通活性化・再生協議会）

小学校の児童を対象に路線バスの大切さ、乗り方、車内でのマナー等を説明し、また、実際に運行している路線バスへの乗車を体験することで、路線バスに愛着を持ってもらい、将来的な利用に繋げる。

(2) 公共交通利用促進パンフレット作成（実施主体：加賀市地域公共交通活性化・再生協議会）

市内の公共交通の運行経路やダイヤ等を掲載したパンフレットを作成し、市内の世帯や高校に配付し、利用促進を図る。

(3) バス停ベンチ整備（実施主体：加賀市地域公共交通活性化・再生協議会）

生活路線バス停留所のうち、ベンチが設置されていないところに、これを設置し、待合環境の向上を図る。

3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者

(1) 運行系統の概要及び運行予定者 表1のとおり

(2) 運行予定期間（国補助対象の期間）

平成30年度：平成29年10月1日から平成30年9月30日まで

平成31年度：平成30年10月1日から平成31年9月30日まで

平成32年度：平成31年10月1日から平成32年9月30日まで

4. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者

市または事業者

5. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称

- ・ 加賀温泉バス株式会社
- ・ 日本海観光バス株式会社

6. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要	
※現在、国において調整中	
7. 協議会の開催状況と主な議論	
平成 29 年 6 月 23 日開催（平成 29 年度第 1 回） 事業内容及び地域内フィーダー系統確保維持計画等について協議	
8. 利用者等の意見の反映状況	
<p>▶ 平成 25 年から平成 28 年にかけて、統合新病院開院に向けて、市民の意見等を聞きながら市内の公共交通を見直し、新地域交通体系「KAGA あんしんネット」の構築を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの充実 ・乗合タクシーの運行 <p>▶ 利用者等の意見を反映して路線バスダイヤを調整した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校では夏季と冬季ではクラブ活動終了時間が異なることから、それぞれの時間に合わせたダイヤの要望があり、夏季と冬季の最終便のダイヤを調整した。 ・温泉片山津線に午前 1 便、夜 1 便を追加した。 <p>▶ 高校生の通学利便性向上のため、大聖寺実業高校前にキャンパス動橋・橋立循環線のバス停を新設した。</p> <p>▶ 利用者等の意見を反映して利用促進事業に取り組んでいる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス停ベンチ等の設置 ・小学生を対象としたバス教室の実施 ・路線バス等の時刻表を掲載したリーフレットの作成及び配布 	
9. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	石川県企画振興部新幹線・交通対策監室交通政策課
関係市区町村	加賀市総務部企画課
交通事業者・交通施設管理者等	加賀温泉バス(株)、加賀第一交通(株)、(株)まちづくり加賀、全国自動車交通労働組合連合会石川ハイタク連合会
地方運輸局	北陸信越運輸局石川運輸支局
その他協議会が必要と認める者	学識経験者、大聖寺警察署、加賀市区長会連合会、加賀市老人クラブ連合会、加賀市身体障害者福祉協会、加賀市観光交流機構、加賀市校長会、利用者代表等

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

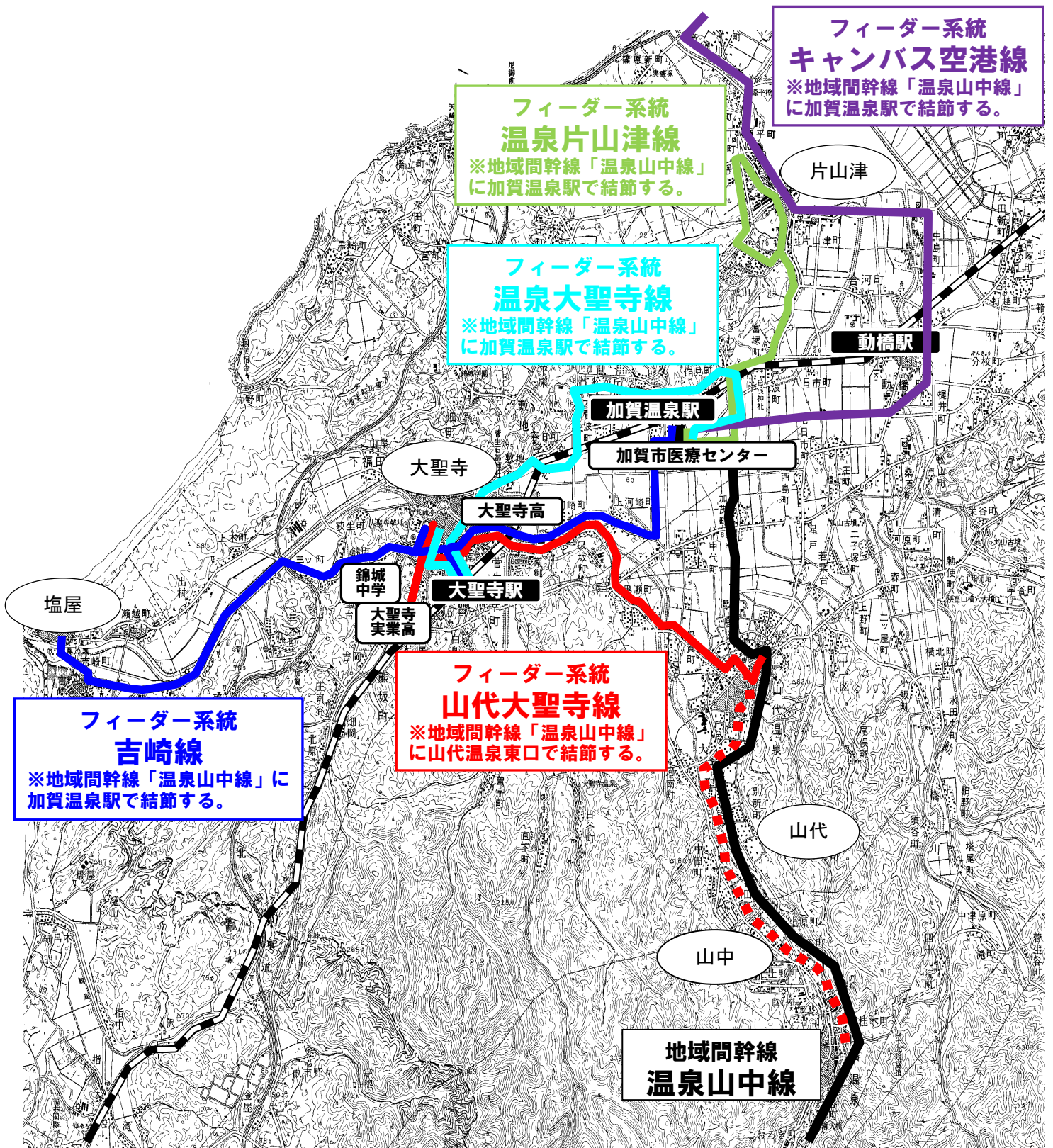
30年度

市区町村	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	再 編 特 例 措 置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)			
			起点	経由地	終点					運行態様の 別	基準口で 該当する 要件	接続する補助対象 地域間幹線系統等 との接続確保策	基準二で該 当する要件 (別表7のみ)
石川県 加賀市	加賀温泉バス(株)	(1) 温泉片山津線H	加賀温泉駅	石川病院	加賀温泉駅	往 13.4km 「循環」	365日	3650.0回		路線定期運行	①	加賀温泉駅で地域間幹線系統 温泉山中線に結節	③
	〃	(2) 山代大聖寺線C	山代温泉東口	上河崎	大聖寺駅前	往 6.4km 復 6.4km	244日	366.0回		路線定期運行	①	山代温泉東口で地域間幹線系統 温泉山中線に結節	③
	〃	(3) 温泉大聖寺線A	加賀温泉駅	大聖寺駅前	かが交流プラザさくら	往 9.6km 復 9.6km	365日	2555.0回		路線定期運行	①	加賀温泉駅で地域間幹線系統 温泉山中線に結節	③
	〃	(4) 吉崎線	加賀温泉駅	大聖寺駅前	塩屋	往 14.0km 復 14.0km	365日	1460.0回		路線定期運行	①	加賀温泉駅で地域間幹線系統 温泉山中線に結節	③
	日本海観光バス(株)	(5) キャンバス空港線	加賀温泉駅	片山津温泉	小松空港	往 17.2km 復 17.2km	365日	1825.0回		路線定期運行	①	加賀温泉駅で地域間幹線系統 温泉山中線に結節	③

(注)

1. 区域運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域を記することとし、「系統キロ程」について記載を要しない。
2. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
3. 「再編特例措置」については、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載する。
4. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行の別を記載すること。
5. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークと、どのように接続を確保するかについて記載する。
6. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。

加賀市地域内フィーダー系統説明図



【地域間幹線】

- ・平成13年3月31日時点で複数の自治体間（旧加賀市、旧山中町）をまたぐ路線をいう。
- ・加賀市の場合、旧加賀市と旧山中町をまたぐ路線である「温泉山中線」が地域間幹線に認定されている。

【フィーダー系統】

- ・地域間幹線「温泉山中線」に結節する枝系統をフィーダー系統という。

議事（４）

◆地域公共交通の利用状況について（平成28年度）

1 路線バス

(1) 加賀温泉バス利用実績

（単位：人）

輸送人員	平成27年度			平成28年度			前年度比 (%)
	年間計	年間平均		年間計	年間平均		
		(1か月)	(1日)		(1か月)	(1日)	
温泉山中線	300,975	25,081	822.3	278,332	23,194	762.6	92.5
温泉片山津線	32,602	2,717	89.1	41,424	3,452	113.5	127.1
吉崎線	33,852	2,821	92.5	33,984	2,832	93.1	100.4
山代大聖寺線	42,939	3,578	117.3	39,521	3,293	108.3	92.0
温泉大聖寺線	22,576	1,881	61.7	28,649	2,387	78.5	126.9
合 計	432,944	36,079	1,182.9	421,910	35,159	1,155.9	97.5

※前年度比は、平成28年度の年間計と平成27年度の年間計を比較

(2) キャンバス動橋・橋立循環線利用実績

（単位：人）

乗車人数	平成27年度			平成28年度			前年度比 (%)
	年間計	年間平均		年間計	年間平均		
		(1か月)	(1日)		(1か月)	(1日)	
7:10発	832	69	2.3	1,738	145	4.8	208.9
12:20発	431	36	1.2	547	46	1.5	126.9
17:10発	448	37	1.2	596	50	1.6	133.0
合 計	1,711	143	4.7	2,881	240	7.9	168.4

※前年度比は、平成28年度の年間計と平成27年度の年間計を比較

2 乗合タクシー利用実績

（単位：人）

乗車人数		平成27年度			平成28年度			前年度比 (%)
		6か月計	10～3月 平均		年間計	年間平均		
			(1か月)	(1日)		(1か月)	(1日)	
エリア ①	行き	745	124	4.1	2,753	229	7.5	184.7
	帰り	446	74	2.4	2,571	214	7.0	289.2
	計	1,191	199	6.5	5,324	444	14.6	223.1
エリア ②	行き	86	14	0.5	420	35	1.2	250.0
	帰り	70	12	0.4	478	40	1.3	333.3
	計	156	26	0.9	898	75	2.5	288.5
エリア ③	行き	225	38	1.2	2,102	175	5.8	460.5
	帰り	200	33	1.1	2,136	178	5.9	539.4
	計	425	71	2.3	4,238	353	11.6	497.2
合 計	行き	1,056	176	5.8	5,275	440	14.5	250.0
	帰り	716	119	3.9	5,185	432	14.2	363.0
	計	1,772	295	9.7	10,460	872	28.7	295.6

※前年度比は、平成28年度の年間平均と平成27年10月～平成28年3月の平均を比較

3 加賀市医療センターにおける乗降者数

(単位：人)

	平成28年度		1か月平均		1日平均	
	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車
加賀温泉バス(4路線)	10,646	6,279	887	523	29.2	17.2
キャンパス(動橋橋立)	127	17	11	1	0.3	0.0
乗合タクシー	1,709	1,666	142	139	4.7	4.6

4 乗合タクシーの地区別の利用者数

(単位：人)

	各地区発	加賀温泉駅発		乗降人数計	60歳以上人口	60歳以上人口1人あたりの乗降回数		
		乗車人数	割合(%)				降車人数	割合(%)
エリア①	大聖寺地区	1,341	25.4	1,300	25.1	2,641	4,384	0.60
	橋立地区	528	10.0	407	7.8	935	1,178	0.79
	塩屋地区	16	0.3	28	0.5	44	345	0.13
	三木地区	265	5.0	258	5.0	523	574	0.91
	三谷地区	519	9.8	506	9.8	1,025	746	1.37
	南郷地区	81	1.5	64	1.2	145	1,219	0.12
エリア②	片山津地区	139	2.6	139	2.7	278	2,271	0.12
	金明地区	95	1.8	110	2.1	205	812	0.25
	湖北地区	9	0.2	15	0.3	24	624	0.04
	作見地区	67	1.3	106	2.0	173	2,689	0.06
	動橋地区	61	1.2	56	1.1	117	1,314	0.09
	分校地区	49	0.9	60	1.2	109	836	0.13
エリア③	山代地区	343	6.5	285	5.5	628	4,359	0.14
	庄地区	161	3.1	161	3.1	322	780	0.41
	勅使地区	334	6.3	295	5.7	629	641	0.98
	東谷口地区	209	4.0	335	6.5	544	370	1.47
	別所地区	119	2.3	73	1.4	192	479	0.40
	山中温泉地区	610	11.6	736	14.2	1,346	1,419	0.95
	河南地区	49	0.9	33	0.6	82	1,579	0.05
	西谷地区	12	0.2	14	0.3	26	384	0.07
東谷地区	268	5.1	204	3.9	472	169	2.79	
合計	5,275	100.0	5,185	100.0	10,460	27,172	0.38	

※割合は、各方面の利用者数に占める各地区での乗降者数の割合

5 乗合タクシーの降車実績が多い施設等

(上位10施設)

(単位：人)

順位	地点名	降車人数	割合(%)
1	加賀市医療センター	1,709	32.4
2	加賀温泉駅	551	10.4
3	アビオシティ加賀	443	8.4
4	イオン加賀の里店	158	3.0
5	ゆーゆー館	150	2.8
6	のざきクリニック	148	2.8
7	加賀体育館	138	2.6
8	久藤病院	123	2.3
9	高沢整形外科	104	2.0
10	ぬくもり診療所	94	1.8

※割合は、各地区発の利用者数に占める各施設等での降車人数の割合

6 乗合タクシーの利用頻度

(単位：人)

利用頻度	人数
10往復/月～	3
5往復/月～	11
4往復/月～	8
3往復/月～	13
2往復/月～	35
～1往復/月	299

※平成28年10月～平成29年3月の実績を集計

※予約時の氏名・電話番号から同一人物と判断できるもののみ集計

◆地域公共交通の利用状況について（平成29年度）

1 路線バス

(1) 加賀温泉バス利用実績

(単位：人)

輸送人員	平成28年度			平成29年度			昨年度比 (%)
	4・5月 計	4・5月 平均		4・5月 計	4・5月 平均		
		(1か月)	(1日)		(1か月)	(1日)	
温泉山中線	46,689	23,345	765.4	41,399	20,700	678.7	88.7
温泉片山津線	6,790	3,395	111.3	7,412	3,706	121.5	109.2
吉崎線	5,992	2,996	98.2	5,445	2,723	89.3	90.9
山代大聖寺線	7,535	3,768	123.5	5,559	2,780	91.1	73.8
温泉大聖寺線	4,256	2,128	69.8	3,809	1,905	62.4	89.5
合計	71,262	35,631	1,168.2	63,624	31,812	1,043.0	89.3

※昨年度比は、平成29年4・5月の合計と平成28年4・5月の合計を比較

(2) キャンパス動橋・橋立循環線利用実績

(単位：人)

乗車人数	平成28年度			平成29年度			昨年度比 (%)
	4・5月 計	4・5月 平均		4・5月 計	4・5月 平均		
		(1か月)	(1日)		(1か月)	(1日)	
7:10発	263	132	4.3	741	371	12.1	281.7
12:20発(～H29.3)	65	33	1.1				-
17:10発	75	38	1.2	206	103	3.4	274.7
18:50発(H29.4～)				130	65	2.1	-
合計	403	202	6.6	1,077	539	17.7	267.2

※昨年度比は、平成29年4・5月の合計と平成28年4・5月の合計を比較

キャンパス動橋・橋立循環線 通学利用(単位：人)

		乗車人数	耳聞山	大聖寺実高前
4月	7:10発	335	141	133
	17:10発	98	22	22
	18:50発	65	25	19
5月	7:10発	406	185	157
	17:10発	108	25	23
	18:50発	65	31	10
合計	7:10発	741	326	290
	17:10発	206	47	45
	18:50発	130	56	29

※7:10発は降車人数、17:10発・18:50発は乗車人数

キャンパス動橋・橋立循環線 4月・5月の朝便の停留所別乗車人数 (単位：人)

	平日		土日祝日		合計	
	乗車人数	1日平均	乗車人数	1日平均	乗車人数	1日平均
加賀温泉駅	2	0.1	-	-	2	0.0
医療センター	-	-	-	-	0	-
動橋	-	-	-	-	0	-
橋本酒造	-	-	-	-	0	-
片山津温泉東口	-	-	-	-	0	-
片山津温泉1区	13	0.3	-	-	13	0.2
片山津温泉総湯	2	0.1	1	0.0	3	0.0
湯の元公園	2	0.1	-	-	2	0.0
片山津温泉西口	7	0.2	-	-	7	0.1
雪の科学館	211	5.3	20	1.0	231	3.8
篠原	78	2.0	5	0.2	83	1.4
塩浜	25	0.6	1	0.0	26	0.4
尼御前岬	10	0.3	-	-	10	0.2
橋立漁港・田尻	133	3.3	16	0.8	149	2.4
小塩	62	1.6	7	0.3	69	1.1
北前船の里	47	1.2	11	0.5	58	1.0
深田	26	0.7	3	0.1	29	0.5
黒崎	51	1.3	6	0.3	57	0.9
高尾	-	-	-	-	0	-
畑山	2	0.1	-	-	2	0.0
耳聞山	-	-	-	-	0	-
大聖寺駅口	-	-	-	-	0	-
大聖寺実高前	-	-	-	-	0	-
合計	671	16.8	70	3.3	741	12.1

2 乗合タクシー利用実績

(単位：人)

乗車人数		平成28年度			平成29年度			昨年度比 (%)
		4・5月 計	4・5月 平均		4・5月 計	4・5月 平均		
			(1か月)	(1日)		(1か月)	(1日)	
エリア ①	行き	419	210	6.9	466	233	7.6	111.2
	帰り	375	188	6.1	392	196	6.4	104.5
	計	794	397	13.0	858	429	14.1	108.1
エリア ②	行き	39	20	0.6	192	96	3.1	492.3
	帰り	51	26	0.8	200	100	3.3	392.2
	計	90	45	1.5	392	196	6.4	435.6
エリア ③	行き	296	148	4.9	391	196	6.4	132.1
	帰り	288	144	4.7	366	183	6.0	127.1
	計	584	292	9.6	757	379	12.4	129.6
合計	行き	754	377	12.4	1,049	525	17.2	139.1
	帰り	714	357	11.7	958	479	15.7	134.2
	計	1,468	734	24.1	2,007	1,004	32.9	136.7

※昨年度比は、平成29年4・5月の合計と平成28年4・5月の合計を比較

議事（５）

キャンバス動橋・橋立循環線の 8月以降の方向性について

1 1日3便の継続

今年4月より、夕便(17:10 発(反対回り))の後に夜便(18:50 発(反対回り))を実験的に1学期に限り運行している。

4月、5月の利用状況は、3便の合計で前年同期の約2.7倍と大きく伸びており、また大聖寺高校及び大聖寺実業高校の両校長からも3便の維持について強い要請があるため、8月以降も1日3便(朝便、夕便、夜便)を維持する。

2 大聖寺実業高校前での停車時間の確保（ダイヤ変更）

今年4月より設置した大聖寺実高前バス停は、まわりに建物などがいないため、帰宅時のバス待ちで風雨にさらされる。

ダイヤを変更し、大聖寺実高前バス停でバスが5分程度停車できるようにすることで、大聖寺実業高校の生徒の待合環境を向上させ、利用者の増加を図る。

キャンパス動橋・橋立循環線の運行内容の検討について

1 土・日・祝日の運行について

現在、キャンパス動橋・橋立循環線は、曜日に関係なく、1年365日運行しているが、平日の利用(H28年度：9.8人/日、H29年度：24.1人/日)に比べて土・日・祝日の利用(H28年度：4.0人/日、H29年度：5.4人/日)が非常に少ない。

このため、継続して利用実績等のデータ収集を行い、今後の土・日・祝日の運行のあり方を検討していく。

2 料金体系について

現在、キャンパス動橋・橋立循環線は、現金(300円)、回数券(8枚2,000円)、定期券(3,000円/月)で乗車できる。

他の公共交通機関(JR、加賀温泉バス)と比較して、定期券の料金が1回あたりの料金に対して非常に安価であるため、利用状況を見極めながら、他の公共交通機関との均衡もはかるため、定期券等の料金改定等についての研究・検討を始める。